

クラス家庭通信9月下旬発行 夏の成果を9月北辰で

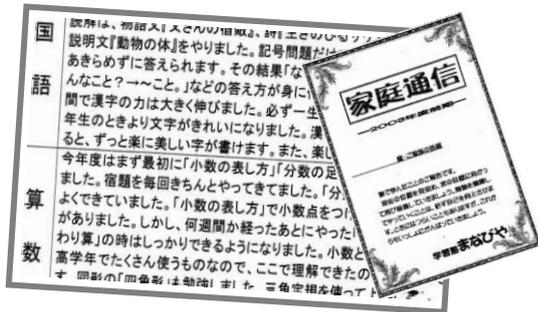
茨城県立高校の2次募集が変更

2023年

またびや 通信 9月

■ クラス家庭通信を発行します

今年度前期半年間、塾で学んだ学習の記録と成果、今後の課題を一人ひとりに向けた報告書にしてお届けします。個別診断は学習塾またびやの柱です。診断の結果をご家庭にもわかるように、また今後の勉強の励みになるようなものをごとを考え、9月下旬に発行予定です。なお、内容を充実させるため、3カ月以上通塾されている方にお配りいたします。



■ 夏の成果を9月北辰で

いよいよ志望校を真剣に考えていく季節となりました。最大の指針は北辰テストの偏差値です。遅くとも11月中には具体的な受験作戦を決定する必要があるため9月・10月・11月の北辰テストで、「第1志望は本当にこれでいいのか」「併願校をどこにすればいいか」などを検討し、実際の受験校を絞っていくこととなります。また、北辰テストの成績は私立高校の「事前相談」に際してもたいへん重要なポイントとなります。各学校の基準に見合った成績を取っている場合は、実際に受験した場合、大きく有利になります。夏期講習で蓄えた実力を、9月以降の北辰で発揮していきましょう。

9月	行事など
1日	休塾
2日	平常授業スタート
18日	敬老の日。平常授業。
23日	秋分の日。平常授業。



お知らせ

- 今月は9月分のお月謝と後期諸費用を合わせてお支払いください。
- 9月18日・23日の祝日は授業があります。

中3の北辰テスト実施予定

実施予定日	申し込み期間	結果到着予定日
9月3日(日)	8/8 まで	9月15日
10月1日(日)	9/11 まで	10月13日
11月5日(日)	10/16 まで	11月17日
12月3日(日)	11/13 まで	12月15日
1月28日(日)	1/8 まで	2月8日

※9月・10月・11月の北辰テストは塾生全員に受けてもらうようにお願いをしております。12月・1月の北辰テストは埼玉県立を考えている塾生におすすめします。

TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS TOPICS

2024年度の茨城県立高校入試2次募集に変更があります。

令和6年度選抜から

第2次募集では、学力検査は実施しません。

- 調査書・面接・実技検査(実施する学校のみ)・作文(学校裁量)等で判定します。
- 配点は各高等学校が定めます。調査書及び面接の配点については、各200点以上、配点の合計については、400点以上700点以下とします。各校の配点等については、10月に県教育委員会ホームページに公表する予定です。
- 一般入学学力検査の結果を参考(学校裁量)*とします。
※点数化はせず、参考扱いとし、不利益な取扱いはしません。
- 出願時における書類の取扱等は、実施細則(9月下旬公表)で定めます。



茨城県教育委員会

Ibaraki Prefectural Board of Education

県立高校入試情報はこちら

<https://kvoiku.npref.ibaraki.in/sakko/nvushi>



茨城県教育委員会が2024年度(令和6年度)のリーフレットをホームページ上に載せました。上記は、その抜粋です。ここで発表された内容で大切なのは、茨城県立では2次募集で学力検査を実施しないことです。調査書・面接・実技検査(実施する学校のみ)・作文(学校裁量)の四つが合否を決める材料になるようです。作文は、学校裁量とあるので、実施する高校としない高校とに分かれます。実技検査は専門的なコースがある高校のみで実施するはずなので、実質、「調査書と面接」が判断基準ということになります。詳しい内容は10月に改めて公表するようです。

2次募集で学力検査がないということは、通知表で合否がほとんど決まってしまうということです。実力で挽回することができません。ただ上記リーフレットでは気になる文言があります。「一般入学学力検査の結果を参考(学校裁量)とします」という部分です。これは、入試の結果も参考資料にするということです。しかも、「不利益な取扱いはしません」という注意書きがあります。入試の結果が極端に悪くても、それで不合格にはしないと読み取れます。しかし、あいまいな表現なので、断定はできません。どのように運営していくのか、10月に発表される詳しい内容を見る必要があります。